

平成27年度 教育委員会 第13回定例会 議案

1 日 時 平成27年10月9日(金) 午後1時30分

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 議 事

(3) 報告事項

(4) 閉 会

第13回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
1	平成 27 年度特別支援体制整備研究協議会報告	1
配付 のみ	静岡県教育職員特別免許状審議委員会の実施	2
	全国高等学校ビブリオバトル静岡県大会結果	3
2	<非>監査結果に関する報告	非

平成 27 年度特別支援体制整備研究協議会報告

(特別支援教育課)

1 開催趣旨

地域における支援体制の充実について、各市町の保健福祉行政担当者、教育行政担当者、地域で核となる特別支援教育コーディネーターが一堂に会し、各市町の取組の状況について情報交換し、障害のある者への一貫した継続的な相談・支援の実施に向けた協議の場とする。

2 日時

平成 27 年 7 月 10 日 (金) 午前 10 時 00 分から午後 4 時 30 分まで

3 会場

静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

4 参加者

各市町保健福祉行政担当者、教育行政担当者、特別支援教育コーディネーター計 109 名

5 日程及び内容

10:00 「県教育委員会所管事項説明」

10:40 講演 「共生社会の形成に向けて特別支援教育を機能させるということ」

13:00 「県健康福祉部所管事項説明」

13:30 実践発表 「高等学校の特別支援教育コーディネーターの役割」

14:15 分科会

16:30 終了

6 参加者アンケート結果

	大変参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	まったく参考にならなかった
福祉担当	41.6%	50%	0%	0%
教育委員会	50%	46.9%	0%	0%
特別支援教育コーディネーター	52%	46%	2%	0%

7 成果と課題

(1) 「つなぐ」という視点

- ・就学までのシステムや、小学校から中学校の連携は整ってきている。中学校から高等学校、高等学校から進学・就労への適切な接続については、高等学校、進学・就労先の情報の引継ぎの重要性を共通理解したうえで、推進していく。
- ・市町の各関係機関をつなぎ子どもの発達を支援する役割を果たす機関が、地域の特別支援の体制を牽引し、支援を充実させる必要がある。

(2) 「各ステージでの充実」という視点

- ・幼児期と高等学校期においては、体制づくりや関係機関と連携する手段について、園や学校によってまちまちであり、十分とはいえない状況にある。支援体制作りには、小・中学校や特別支援学校と連携を図り、私立幼稚園や保育所、私立高校等の参加を促すことも加えていく必要がある。
- ・教職員全体の特別支援教育に対する理解を促し、各ステージのキーパーソンがその専門性を向上させる研修を実施し、専門職の外部人材を活用する方策を検討する。

(3) 「ツール」という視点

- ・相談支援ファイルの作成と活用、及び学校間における個別の指導計画、個別の教育支援計画の活用については、効果的な方法について検討をしていく。

静岡県教育職員特別免許状審議委員会の実施

(義務教育課)

1 特別免許状授与に係る審議委員会の概要

(1) 特別免許状について

教員免許状を持っていないが優れた知識経験を有する社会人等を教員として迎え入れることにより、学校教育の多様化への対応や、その活性化を図るため、授与する免許状である。そのため、任用しようとするものの推薦に基づき、県教育委員会が行う教育職員検定に合格した者に免許状（本県でのみ10年間有効）を授与する。

(2) 授与条件

- ・専門的な知識又は技能を有すること
- ・社会的信望があり、かつ教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有すること

(3) 免許状授与にかかる根拠

- ・特別免許状は、教育職員検定に合格した者に授与する。
(教育職員免許法第5条第3項より)
- ・教育職員検定において合格の決定をしようとするときは、あらかじめ、学校教育に関し学識経験者を有する者その他の文部科学省令で定める者の意見を聴かなければならない。(同法第5条第5項より)

2 審議委員会開催について

(1) 審議委員

	氏名	所属・職名
1	中村 孝一	常葉大学教育学部長
2	河西 哲郎	学識経験者(元静岡文化芸術大学事務局参与)
3	鳥居 春仁	静岡県立静岡高等学校長

事務局(義務教育課長、人事監、主幹、免許担当)

推薦者(高校教育課参事、人事管理主事)

(2) 開催日等

日時 平成27年11月中旬予定

場所 未定

(3) 審議会内容

- ①審議内容の説明
- ②任命権者又は雇用者より推薦について説明
- ③受検者の教育職員としての専門性(学力・専門的知識・経験)及び適格性(人物・身体・教育への熱意)の審議

(4) 受検者について

- ・平成28年度静岡県教員採用選考試験において、工業関係の修士以上の学位を持ち、民間企業等で工業関係の業務に3年以上勤務経験を有する者で特別選考に志願をし、2次選考に合格した者1名(10/1合格発表)
- ・審議により、授与見込み特別免許状の種別及び教科は、【高校・工業】

全国高等学校ビブリオバトル静岡県大会結果

(社会教育課)

1 大会概要

(1) 趣旨

「読書県しずおか」の構築に向け、静岡県の高校生の本に対する興味や関心を高め、表現力を磨くとともに、自主的に読書活動に取り組む気運を醸成するため、全国高等学校ビブリオバトル静岡県大会を開催する。

※ビブリオバトルとは…発表者がそれぞれ推薦する本の紹介を制限時間内に行い、どの本を一番読みたくなったかを参加者全員の投票で決定する。最も票を集めた本を「チャンプ本」とする。

(2) 開催日時

平成27年9月19日(土) 午後1時30分から

(3) 会場

静岡県立中央図書館

(4) 発表者(バトラー)

県内の高等学校に在籍する生徒

(5) その他

ア 発表者は各学校2名までとする。

イ 投票は発表者及び観戦者全員により行う。

ウ チャンプ本の発表者は静岡県代表として「全国高等学校ビブリオバトル2015」(平成28年1月10日:よみうり大手町ホール)の出場権を得る。

2 発表者参加状況

(人)

学校名		1年生	2年生	3年生	計
公立	県立裾野高等学校	0	1	1	2
	県立島田商業高等学校	0	0	1	1
	県立天竜高等学校	0	1	0	1
	県立磐田北高等学校	0	1	0	1
	県立沼津西高等学校	1	1	0	2
	浜松市立高等学校	0	1	0	1
私立	藤枝明誠高等学校	2	0	0	2
	常葉学園橘高等学校	1	1	0	2
	静岡学園高等学校	2	0	0	2
	浜松学芸高等学校	2	0	0	2
計		8	6	2	16

3 決勝進出者及び紹介本(発表順)

決勝進出者	書名
中西 亜理沙(沼津西高校)	「眠れぬ真珠」(石田衣良著)
小嶋 心(浜松市立高校)	「モンスター」(百田尚樹著)
小川 真琴(静岡学園高校)	「ここはボツコニアン3 二軍三国志」(宮部みゆき著)
黄 遥(浜松学芸高校)	「煌夜祭」(多崎礼著)
齋藤 夏帆(常葉学園橘高校)	「No.6」(あさのあつこ著)
松本 紗季(浜松学芸高校)	「ちょっと今から仕事やめてくる」(北川恵海著)

4 チャンプ本

「モンスター」(百田尚樹著)

(浜松市立高等学校 小嶋心さん紹介) ※投票数 56 票中 15 票獲得